

# カンタッチ

PAT. P

Open  
The  
Secret!



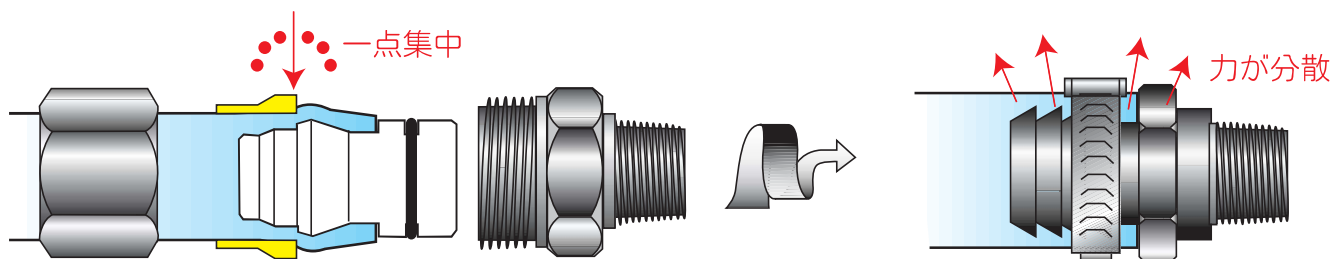
私たちは  
リガマジックを提案します。

## の 種あかし

カンタッチ継手とは・・・ **漏れない！ 抜けない！ 外れない！**・・・その特徴？  
インサートスリーブをホースに差し込み、バックリングで押さえて隙間無くシールするため、漏れやホース抜けが完全に無くなり、安全な配管が約束されます！

### 種あかし・その1 ホースとの接続構造

① ホースバンドがいらない。



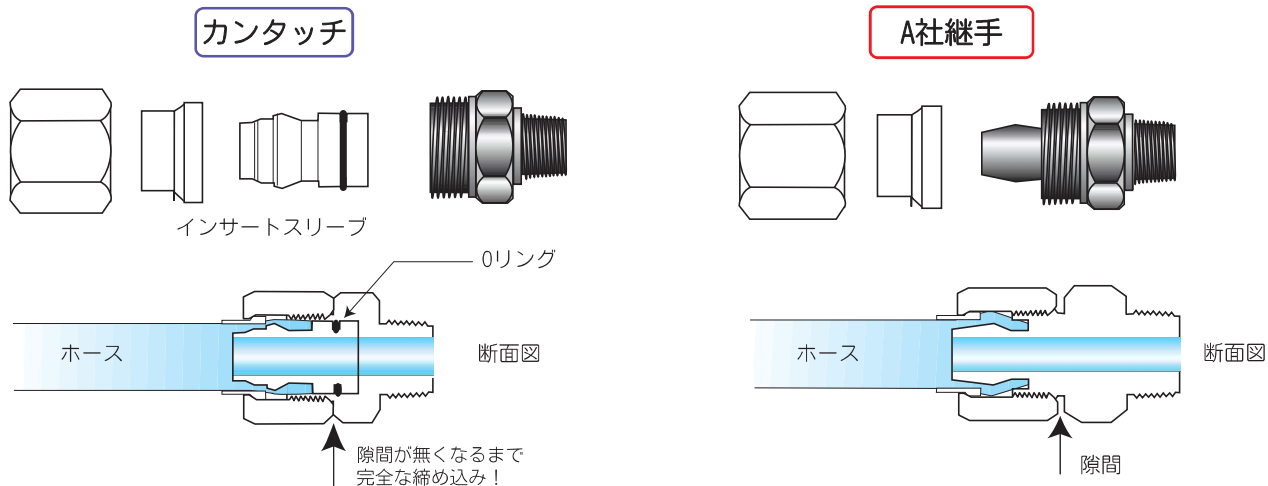
<カンタッチの場合>

<従来のタケノコ構造>

カンタッチ独自のインサートスリーブは、一山でしっかりまとめてホールド！ホースバンド不要で外観もスッキリ！

タケノコを差し込んでホースバンドで締め上げる。作業着に引っかかったり、圧力や振動で緩み、漏れ、抜けの心配があり、凹凸が多いので締め上げる力が分散されます。

② A社との比較



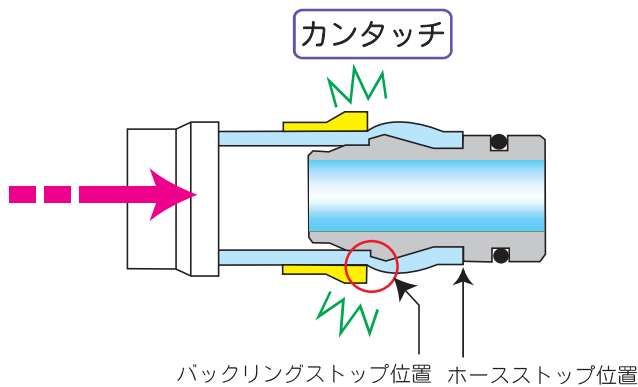
インサートスリーブが本体と分割されているので締め込みの際、ホースによじれが発生しにくい。ボディとナットの間隙が無くなるまでしっかり締め込めるのがカンタッチの特徴。誰が配管しても同じように安全な締め込みが出来ます。  
(トルク指定無し)

ボディがインサート部と一体化しているため、ホースが共回りしてしまい、締め込みの途中でホースが切れるなど、最後まで締め込めない現象が起きます。  
(締め付けトルク指定有)

抜けや外れがありません！

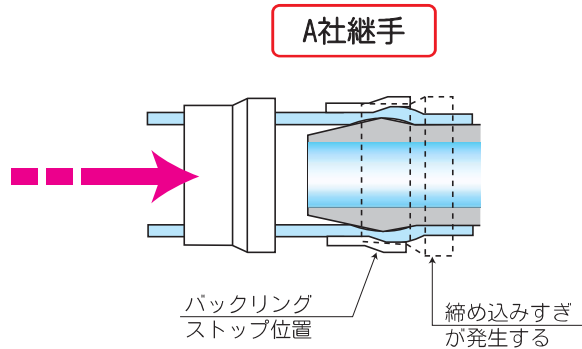
ホース切れ、抜けの心配！

## 種あかし・その2 インサートの形状



バックリングストップ位置 ホースストップ位置

カンタッチは、インサートスリーブのくびれによる独自のダム構造と、樹脂製のバックリングがホースのすべりを押さえ、しっかり成形します。ホース糸ごと一点集中でロックされ、締め込みすぎによるホースの破損もありません。

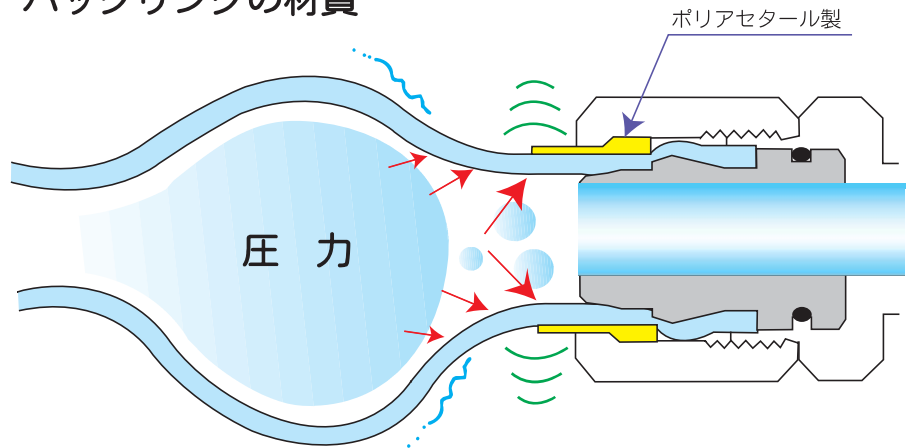


A社製のインサートの構造では、締め込みすぎるとバックリングがインサートの山を乗り越えてしまい、ホース切れの原因となる可能性があります。耐圧性も低減します。

## 種あかし・その3 バックリングの材質

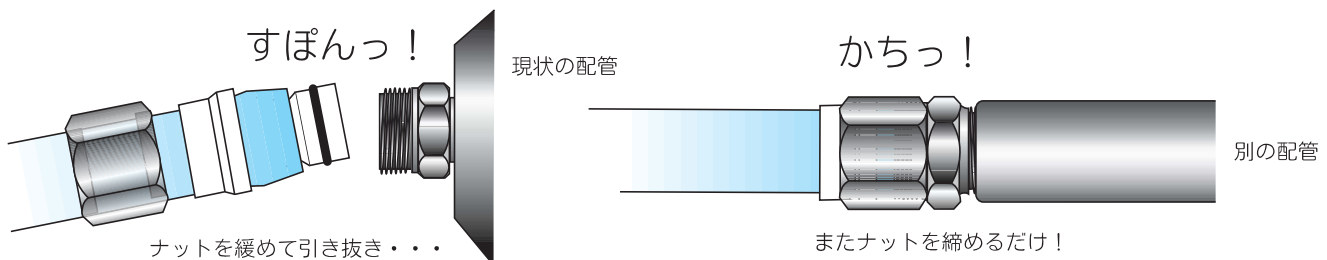
カンタッチ・・・樹脂

A社継手・・・金属



カンタッチは樹脂製のバックリングなので、急に圧力がかかってホースが膨らんでも柔軟性があるため、ホースを傷めず、一点集中によるロックで糸抜けがありません。ホースも樹脂性、バックリングも樹脂性なので密着度が高く優れたシール性を発揮します！

## 種あかし・その4 配管接続が自由自在



ホース付け換えの際など、インサートスリーブごと外れるので、ホースの弛み、緩みをなくし、他のラインとの入れ換えも簡単。工数低減になります。

ご注意\*カンタッチの性能を十分に発揮させるため、ホースの内・外径をご確認の上、必ず規定のサイズでご使用下さい。異径のホースをご使用になった場合の事故などは保証しかねます。